



承認容器使用期間更新申請書

令02原機（科臨）017

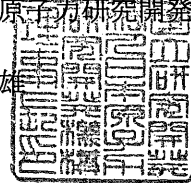
令和2年11月11日

原子力規制委員会 殿

住 所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1

氏 名 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事長 児玉 敏雄



核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則第23条第2項の規定により、下記のとおり申請します。

記

1 輸送容器の名称

PUCON-II型

2 承認容器登録番号

No.	承認容器登録番号	製造番号	
		密封容器・外容器・緩衝体	貯蔵容器（内容器）
1	S8B148	PUJ-1	NU0008
2	S16B148	PUJ-2	NU0016

【設計承認番号：J/148/B(U)F-96(Rev.1)】

3 容器承認書に記載された期間

平成28年2月9日から平成32年12月13日まで

4 更新後に承認容器として使用することを予定している期間

承認を受けた日から5年間

5 更新の理由

本容器承認の有効期間は、令和2年12月13日までとなっているが、今後も核燃料の運搬に使用する予定があるため、承認容器使用期間の更新を行う。

6 その他

(添付書類)

当該輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書

当該輸送容器が当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されていることを示す説明書

1 定期自主検査

当該輸送容器については、平成27年12月14日付け原規規発第1512141号をもって原子力規制委員会の承認（設計承認番号：J/148/B(U)F-96 (Rev. 1)）を受けた定期自主検査の方法に従って、維持している。

また、平成28年2月9日付け原規規発第1602094号をもって取得した容器承認書に記載された使用期間中、1年に1回以上（年間の使用回数が10回を超えるものにあつては、使用回数10回ごとに1回以上）の頻度で実施した定期自主検査の記録（別添のとおり）により確認している。

なお、当該期間中における輸送容器の使用実績はない。

2 保管中の維持管理

当該輸送容器の保管及び取扱いに当たっては、以下のように管理し、性能を維持している。

- (1) 輸送容器を保管する場合は、専用架台を使用し、施設内に保管している。
- (2) 輸送容器を移動等により取り扱う場合には、その性能が損なわれないよう慎重に取り扱っている。

以上により、当該輸送容器については、当該輸送容器の設計及び製作の方法に適合するよう維持されている。

別添

更新前の使用期間中における「輸送容器定期自主検査記録」

検査対象容器 登録番号（製造番号）		S 8 B 1 4 8 (密封容器、外容器、緩衝体：PUJ-1 貯蔵容器：NU0008) S 1 6 B 1 4 8 (密封容器、外容器、緩衝体：PUJ-2 貯蔵容器：NU0016)	
検査実施年度	検査実施日	検査結果	検査記録
平成28年度	平成28年7月5～8日	合格	別紙-1
平成29年度	平成29年7月3、5～7日	合格	別紙-2
平成30年度	平成30年7月3～6日	合格	別紙-3
令和元年度	令和 元年7月2～5日	合格	別紙-4
令和2年度	令和 2年6月30日～7月3日	合格	別紙-5

※平成27年度の定期自主検査実施日：平成27年7月7日～平成27年7月10日

PUCON-II型輸送容器

定期自主検査記録

平成28年 7月 8日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

福島技術開発試験部 臨界技術第1課

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器	
承認容器登録番号	S8B148	
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-1
	貯蔵容器	NU0008
検査実施年月日	平成28年7月5~8日	
検査責任者	臨界技術第1課長 曾野 浩樹	
検査者		

検査結果

検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部および下部緩衝体貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	有害な割れ、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器および密封容器のOリング部	貯蔵容器および密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークテスターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-9} \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ ($1 \times 10^{-5} \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
			測定結果：貯蔵容器 $4.6 \text{ E-09 Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ 密封容器 $4.0 \text{ E-08 Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ $4.6 \text{ E-08 atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$ $4.0 \text{ E-09 atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		
密封装置の弁、ガスカート等の保守	貯蔵容器および密封容器のOリング部	貯蔵容器、密封容器のOリングの外観を目視により検査する。	異常な割れ、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、Oリングを交換する。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	腐食や亀裂がなく、かつ有害な変形等のないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観をもくして検査する。	異常な変形、破損等がないことをもって合格とする。	良	合格
しゃへい検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	有害な変形等のないことをもって合格とする。	良	合格

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器	
承認容器登録番号	S16B148	
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-2
	貯蔵容器	NU0016
検査実施年月日	平成28年7月5~8日	
検査責任者	臨界技術第1課長 曾野 浩樹	
検査者		

検査結果

検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部および下部緩衝体貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	有害な割れ、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器および密封容器のOリング部	貯蔵容器および密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムゲージで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-9} \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ ($1 \times 10^{-5} \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
			測定結果：貯蔵容器 $5.5 \text{ E-}09 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ $5.5 \text{ E-}08 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$ 密封容器 $1.9 \text{ E-}08 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{sec}$ $1.9 \text{ E-}07 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器および密封容器のOリング部	貯蔵容器、密封容器のOリングの外観を目視により検査する。	異常な割れ、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、Oリングを交換する。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	腐食や亀裂がなく、かつ有害な変形等のないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観をもくしで検査する。	異常な変形、破損等がないことをもって合格とする。	良	合格
しゃへい検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	有害な変形等のないことをもって合格とする。	良	合格

PUCON-II型輸送容器

定期自主検査記録

平成29年 7月25日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

福島技術開発試験部 臨界技術第1課

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S8B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-1			
	貯蔵容器	NU0008			
検査実施年月日	平成29年7月3日、7月5日、7月6日、7月7日				
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-6} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
			測定結果：貯蔵容器 $6.3 \text{E}-09 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ $6.3 \text{E}-08 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$ 密封容器 $1.3 \text{E}-07 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ $1.3 \text{E}-07 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S16B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-2			
	貯蔵容器	NU0016			
検査実施年月日	平成29年7月3日、7月5日、7月6日、7月7日				
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-6} \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
	測定結果：貯蔵容器 $7.4 \text{ E-}09 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ $7.4 \text{ E-}08 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		密封容器 $1.6 \text{ E-}08 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ $1.6 \text{ E-}07 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガスカート等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

PUCON-II型輸送容器

定期自主検査記録

平成30年7月30日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

臨界ホット試験技術部 臨界技術第1課

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器	
承認容器登録番号	S8B148	
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-1
	貯蔵容器	NU0008
検査実施年月日	平成30年7月3日、7月4日、7月5日、7月6日	
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦	
検査者		

検査結果

検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-9} \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
			測定結果：貯蔵容器 $3.1 \text{ E-}09 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ 密封容器 $1.4 \text{ E-}08 \text{ Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ $3.1 \text{ E-}08 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$ $1.4 \text{ E-}07 \text{ atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$		
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S16B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-2			
	貯蔵容器	NU0016			
検査実施年月日	平成30年7月3日、7月4日、7月5日、7月6日				
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-9} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-5} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

PUCON-II型輸送容器

定期自主検査記録

令和元年8月8日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

臨界ホット試験技術部 臨界技術第1課

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器	
承認容器登録番号	S8B148	
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-1
	貯蔵容器	NU0008
検査実施年月日	令和元年7月2日、7月3日、7月4日、7月5日	
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦	
検査者		

検査結果

検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-6} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S16B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-2			
	貯蔵容器	NU0016			
検査実施年月日	令和元年7月2日、7月3日、7月4日、7月5日				
検査責任者	臨界技術第1課長 小川 和彦				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-6} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガasket等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格

PUCON-II型輸送容器

定期自主検査記録

令和2年 7月15日

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構

原子力科学研究部門 原子力科学研究所

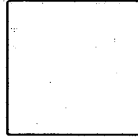
臨界ホット試験技術部 臨界技術第1課

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S8B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-1			
	貯蔵容器	NU0008			
検査実施年月日	令和2年6月30日、7月1日、7月2日、7月3日				
検査責任者	臨界技術第1課長 				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のOリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-9} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-6} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガスケット等の保守	貯蔵容器及び密封容器のOリング	貯蔵容器及び密封容器のOリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、Oリングを交換する。	良	合格

定期自主検査記録

輸送容器名称	PUCON-II型輸送容器				
承認容器登録番号	S16B148				
輸送容器製造番号	密封容器、外容器、緩衝体	PUJ-2			
	貯蔵容器	NU0016			
検査実施年月日	令和2年6月30日、7月1日、7月2日、7月3日				
検査責任者	臨界技術第1課長 井上 一 希				
検査者					
検査結果					
検査項目	検査対象	検査方法	合格基準	結果	判定
外観検査	外容器、上部及び下部緩衝体、貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
耐圧検査	貯蔵容器、密封容器	外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
気密漏えい検査	貯蔵容器及び密封容器のリング部	貯蔵容器及び密封容器内部をヘリウムガスで置換し、ヘリウムリークディテクターで漏えい率を測定する。	貯蔵容器と密封容器のそれぞれの漏えい率が $1.01 \times 10^{-6} \text{Pa} \cdot \text{m}^3/\text{s}$ ($1 \times 10^{-5} \text{atm} \cdot \text{cc}/\text{sec}$) 以下であることをもって合格とする。	良	合格
遮蔽検査	外容器、貯蔵容器、密封容器	外容器、貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
未臨界検査	貯蔵容器、密封容器	貯蔵容器、密封容器の外観を目視により検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
吊上検査	吊具	本容器を吊り上げた後の状態において、吊具等の外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。	良	合格
密封装置の弁、ガスケット等の保守	貯蔵容器及び密封容器のリング	貯蔵容器及び密封容器のリングの外観を目視で検査する。	割れ、異常な傷、変形等がないことをもって合格とする。異常が認められた場合、リングを交換する。	良	合格



容 器 承 認 書

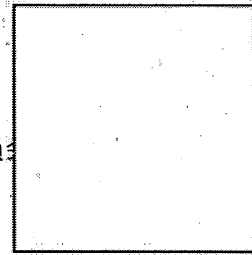
原規規発第1602094号

平成28年2月9日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事長 児玉 敏雄 殿

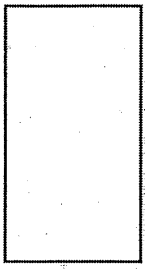
原子力規制委員



核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律（昭和32年法律第166号）第59条第3項及び核燃料物質等の工場又は事業所の外における運搬に関する規則（昭和53年総理府令第57号）第21条第1項の規定に基づき、平成28年1月15日付け27原機（科福開）047をもって申請のあった輸送容器については、同規則に定める技術上の基準に適合していると認められるので、同法第59条第3項の規定に基づき、下記のとおり承認します。

記

1. 氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては、その代表者の氏名
名 称 : 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
住 所 : 茨城県那珂郡東海村大字舟石川765番地1
代表者 : 理事長 児玉 敏雄
2. 輸送容器の名称 : PUCON-II型



3. 輸送容器の外形寸法及び重量

(1) 輸送容器の外形寸法

外 径 : 約 c m

長 さ : 約 c m

(2) 輸送容器重量 : k g 以下

(3) 核燃料輸送物の総重量 : k g 以下

(4) 核燃料輸送物の外観 : 添付図のとおり

詳細形状は、本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計変更承認申請書別紙の(イ)一図1から(イ)一図10までに示されている。

(5) 輸送容器の主要材料

貯蔵容器 (内容器) : ステンレス鋼

密封容器 : ステンレス鋼、、

外容器 : ステンレス鋼、、

緩衝材 : ステンレス鋼、

4. 核燃料輸送物の種類

(1) 核燃料輸送物の種類 : B U型核分裂性輸送物

(2) 輸送制限個数 : 制限なし

(3) 配列方法 : 任意

(4) 臨界安全指数 : 0

5. 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量
添付表のとおり

6. 承認容器登録番号【設計承認番号：J / 148 / B (U) F - 96 (Rev. 1)】

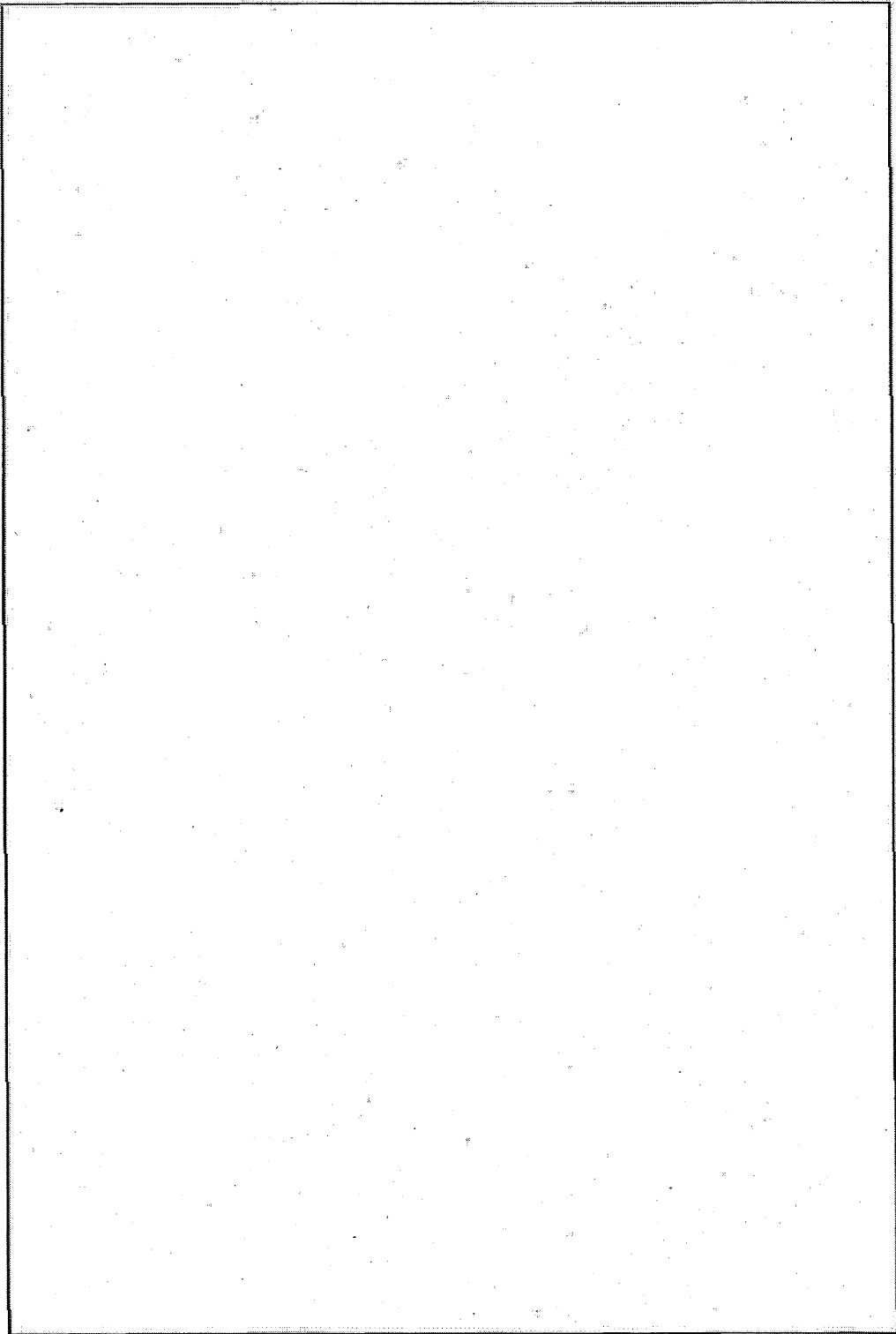
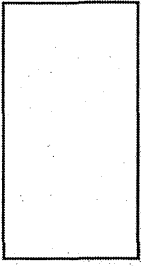
	承認容器登録番号	製 造 番 号	
		密封容器・外容器・緩衝体	貯蔵容器 (内容器)
1	S 8 B 1 4 8	P U J - 1	N U 0 0 0 8
2	S 1 6 B 1 4 8	P U J - 2	N U 0 0 1 6

7. 承認容器として使用する期間

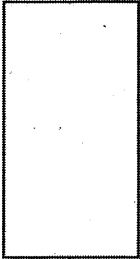
平成28年2月9日から平成32年12月13日まで

8. 輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項

本核燃料輸送物の核燃料輸送物設計承認書(平成27年12月14日付け原規規発第1512141号)の9.に示す輸送容器の保守及び核燃料輸送物の取扱いに関する事項を遵守して実施すること。



添付図 PUCON-II型核燃料輸送物外観図



添付表 収納する核燃料物質等の種類、性状、重量及び放射能の量

項 目		仕 様		
種 類		ウラン酸化物及びプルトニウム酸化物の <input type="text"/>		
性 状		<input type="text"/>		
重 量	酸化物	<input type="text"/> kg 以下		
	プルトニウム	<input type="text"/> kg 以下		
	プルトニウム同位元素	²³⁸ Pu	<input type="text"/> kg 以下	
		²³⁹ Pu	<input type="text"/> kg 以下	
		²⁴⁰ Pu	<input type="text"/> kg 以下	
		²⁴¹ Pu	<input type="text"/> kg 以下	
		²⁴² Pu	<input type="text"/> kg 以下	
アメリシウム	²⁴¹ Am	<input type="text"/> kg 以下		
放射能の量	総量	<input type="text"/> Bq 以下		
	主要な核種	²³⁸ Pu	<input type="text"/> Bq 以下	
		²³⁹ Pu	<input type="text"/> Bq 以下	
		²⁴⁰ Pu	<input type="text"/> Bq 以下	
		²⁴¹ Pu	<input type="text"/> Bq 以下	
		²⁴² Pu	<input type="text"/> Bq 以下	
		²⁴¹ Am	<input type="text"/> Bq 以下	
プルトニウム富化度		<input type="text"/> % 以下		
核分裂性プルトニウム富化度		<input type="text"/> % 以下		
ウラン濃縮度		<input type="text"/> % 以下		
燃焼度		<input type="text"/>		
発熱量		80W 以下		
冷却日数		<input type="text"/>		
収納缶		Pu 缶 (カートリッジに収納)		

プルトニウム富化度 = $\frac{\text{プルトニウム重量}}{\text{プルトニウム重量} + \text{ウラン重量}}$

核分裂性プルトニウム富化度 = $\frac{(^{239}\text{Pu} + ^{241}\text{Pu})}{\text{プルトニウム重量} + \text{ウラン重量} + ^{241}\text{Am}}$